

テーマ

日本の億万長者は6千人

適用分野

所得分配、ミクロ経済学、家計の経済学



研究名称

格差社会に突入した日本社会

氏名所属

森 剛志 教授
経済学部 経済学科

内容

●特徴

格差の社会に突入した日本で、富裕層と貧困層の特徴を家計の視点から浮き彫りにする。特にこれまで焦点を当ててこられなかった日本の富裕層の実態を分析する。

●研究内容

日本中の1億円以上の年収の人々（約6000人）すべてにアンケート

用紙を配布し、インタビューをさせて頂ける方々には、一軒一軒回って、1人1時間程度かけて話を伺った。その結果を、京都大学経済学部の名誉教授である橋木俊詔先生とご一緒に『日本のお金持ち研究』（日本経済新聞社、2005年3月）で明らかにした。日本の1億円以上の年収の人々の職業は、表-1に示したように、企業家（31.7%）が最も多く、次いで医師（15.4%）であった。アメリカでは弁護士の億万長者が医師よりも多いのに、日本では弁護士のお金持ちはほとんどいないのである。つまり、日本のお金持ちの職業トップ2は、「企業家」と「医師」ということである。また、医師は全国くまなく存在することも特徴である。

表-1 高額税者に関する職業別分布

	企業家	経営幹部	医師	弁護士	芸能人	スポーツ選手	その他	全体
東京以外	33.3%	13.9%	23.4%	0.3%	0.3%	1.1%	27.7%	100.0%
東京	28.9%	7.6%	1.4%	0.6%	3.1%	0.5%	57.9%	100.0%
全体	31.7%	11.6%	15.4%	0.4%	1.3%	0.9%	38.7%	100.0%

出典：国税庁『全国高額納税者名簿』（2001年度）より作成。

また、医師では開業医の比率がほとんどであり、経営者はオーナー経営者が大半である。日本のお金持ちの平均資産額は54億円なども割り出した。

富裕層の妻の研究は現在進行形であり、貧困層についての研究も着手中である。格差社会に突入した日本では、富裕層も貧困層もかつてのそれとは量と質とも異なる様相を呈してきていると考えている。

詳しくは、以下の書籍も参考にしてください。

「日本のお金持ち研究」 橋木俊詔・森剛志 日本経済新聞出版社

「新・日本のお金持ち研究」橋木俊詔・森剛志 日本経済新聞出版社

「日本のお金持ち妻研究」森剛志・小林淑恵 東洋経済新報社

キーワード

富裕層、貧困層、所得格差、格差社会、所得分配

連携方法

■ 講演 ■ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 ■ コメント ■ 共同研究